

輸血実施手順書

日本輸血学会
2021年2月作成

① 輸血同意書の取得

主治医は輸血の必要性、リスク等について患者（または代理人）に説明し、一連の輸血を行う前に必ず輸血同意書を得る。

② 血液型の確認と採血

輸血を実施するまでに患者の血液型 (ABO blood type) を確認する。Rh(D)陽性者、Rh(D)陰性者において、輸血時緊急処置時に加えるとともに、カブリ子に輸血型付血液製剤を処方する。

③ 輸血指示の確認

主治医は標準式の輸血指示紙が医師（医師が時間外勤務時を認め、医師が不在の場合は、医師、薬剤師の署名、印）と患者または代理人の署名・捺印（医師が不在の場合は、その旨を輸血部門へ提出し、主治医または医師が直接に上記輸血の内容を確認する）を確認する。
輸血要請者は輸血前に輸血指示紙が医師と薬剤師の署名が揃っているを確認する。

④ 輸血パックの準備 (輸血前検査)

次の3つの事項を確認は責務として、声を出して報告し、所定欄にサインする。
①血液型について、血液パックと医師が処方した輸血要請書に患者の血液型に一致しているかを確認する。
また、血液パックと輸血要請書の患者姓名（姓・名字）が一致し、有効期限内であることを確認する。
②輸血パックが主治医の指示通り行われていないかを確認する。
③血液パックの有効期限（賞味、賞期）を確認する。賞期満了の有無が不明の場合は確認する。

⑤ 患者の反応

「患者に異常な症状が出現しないか」
「患者がアレルギー反応に陥る恐れがあるか」
の両方確認及び異常時の対応、処置法を一言していただくを推奨する。

また、輸血時患者の反応、血圧値を定期的に観察し、異常が認められた場合は、医師に報告する。また、輸血終了後、患者が異常な反応を示した場合は、医師に報告し、医師の指示に従って対応する。

⑥ 混合器にサイン

患者と血液パックの割合を、ヘクトサインで混合器のサイン欄にサインして輸血を開始する。

⑦ 輸血観察の観察

輸血開始後5分間、患者の状態を観察する。15分後と終了時にも観察し、輸血副作用の有無を確認する。

⑧ 使用血液の記録

カブリ子に血液パックの製造番号（ロット番号）を記録する。

